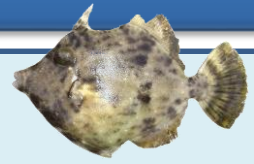


カワハギ養殖技術の開発

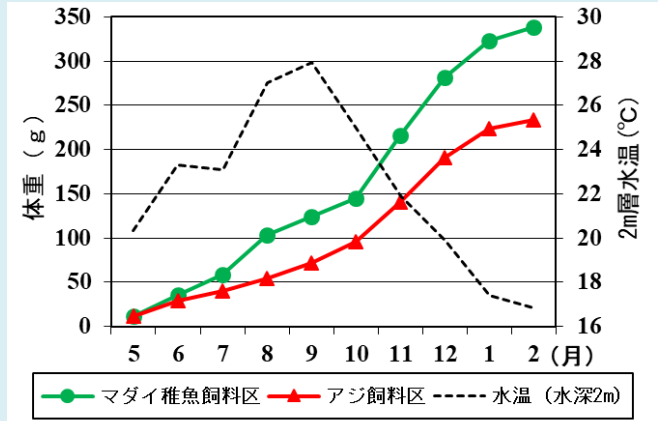
カワハギ養殖マニュアルを改訂



早期採卵種苗の成長性の検討

- ・1歳魚の夏季に多発する魚病によるへい死が課題
- ・対策として、
 - ①出荷時期を早め、魚病の発生回避が期待できる早期採卵種苗(通常より早い冬季に採卵した種苗)の有効性を検討
 - ②早期採卵種苗の成長に適した飼料を検討(マダイ稚魚飼料とアジ飼料(自動給餌器で給餌))

早期採卵種苗は、5月に導入後、マダイ稚魚飼料を給餌することで、翌年1月には出荷サイズ(300g)に！

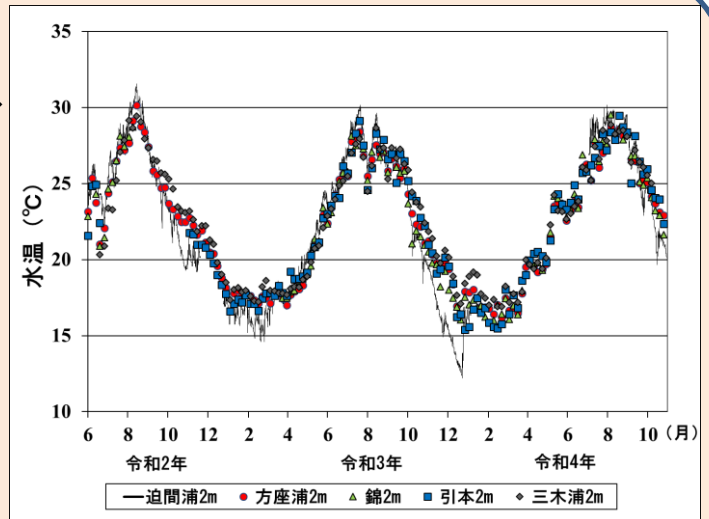


県内漁場における水温調査

- ・カワハギは10℃未満の低水温でへい死が生じるため、漁場の選定には水温の情報が必要
- ・高水温環境(25℃以上)では魚病被害が懸念される
- ・令和2年~令和4年にかけて、県内5地点の水温を調査

【調査地点】迫間浦、方座浦、錦、引本、三木浦
いずれも水深2m地点で計測

- ・いずれの地点・時期でも10℃以上の水温帯が保たれ、養殖が可能と考えられた
- ・7月~10月頃は、いずれの地点も25℃を超え、魚病被害の発生に注意が必要



得られた結果から、カワハギ養殖マニュアルを改訂しました



三重県水産研究所 尾鷲水産研究室

Mie Prefecture Fisheries Research Institute

〒519-3602 尾鷲市大字天満浦字古里215-2

TEL (0597)22-1438

FAX(0597)22-1439

(2023年3月発行)